

2025（令和 7）年度修士学位論文等の提出について

標記のことについて、2026 年 3 月修士課程修了予定者は、次の 1. 2. のいずれかの手続きを必ず行うこと。

1. 修士学位論文を提出する者

提出物	提出期間・方法等
「修士学位論文題目」 「宣誓書」 「学位記記載事項等確認」 「承諾書」	2025 年 11 月 25 日(火)10:00～12 月 2 日（火）16:30【期限厳守】 ・ UTOL に WEB 入力すること。 ・ 指導教員の承認を得た上で、提出を行うこと。 ・ 「修士学位論文題目」は、指導教員の十分な指導を受け、確定したものについて、提出を行うこと。 －今回提出後、「修士学位論文題目」を変更することはできないので、十分注意すること。 －今回提出を行う「修士学位論文題目」と、以降提出を行う「修士学位論文」「修士学位論文要旨」は、一字一句、完全に同一の表記とすること（和訳を含む）。
「修士学位論文」	2026 年 1 月 5 日(月)10:00～1 月 8 日(木)16:30【期限厳守】 ・ 電子ファイル（PDF ファイル）を UTOL にアップロードすること。
「修士学位論文要旨」	2026 年 1 月 5 日(月)10:00～1 月 9 日(金)16:30【期限厳守】 ・ 電子ファイル（PDF ファイル）を UTOL にアップロードすること。

2. 修了しない者

提出物	提出期間・方法等
下記のうち該当する書類 「在学期間延長願」 「休学願」 「退学願」	在学生向け WEB サイトに後日掲載予定の通知に従い、 在学期間延長願、休学願、退学願のいずれかを提出すること 。期日や詳細は WEB サイトに掲載する通知を確認すること。 https://www.p.u-tokyo.ac.jp/students/category/cat_class/

2025 年 6 月 27 日 掲載
2025 年 10 月 31 日 更新
教育学研究科学生支援チーム

提出方法等の詳細について

(1) はじめに

- ・各提出期限は、厳守となる。
- ・各提出物について、提出期限後の差替・修正等は一切認められない。
- ・「修士学位論文」を作成するにあたっては、次の2点を必ず熟読すること。
 - ① 信頼される論文を書くために第4版（東京大学大学院教育学研究科）
https://www.p.u-tokyo.ac.jp/wp-content/uploads/2024/03/manual_oct2023.pdf
 - ② 東京大学科学研究行動規範
<https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/research/ethics/index.html>
- ・修士学位論文口述試験は、必ず受験しなければならない。
 - －実施日時・方法を含め、詳細については、所属コースに確認すること。

(2) 「修士学位論文題目」

- ・指導教員の承認を得た上で、提出を行うこと。
- ・「修士学位論文題目」は、指導教員の十分な指導を受け、確定したものについて、提出を行うこと。
- ・「修士学位論文」及び「修士学位論文要旨」は和文又は英文で作成することが可能であるが、「修士学位論文」を英文で作成する場合、「修士学位論文題目」も英文とする。なお、題目の後に括弧で和訳をつけることができる。
 - －今回提出後、「修士学位論文題目」を変更することはできないので、十分注意すること。
 - －今回提出を行う「修士学位論文題目」と、以降提出を行う「修士学位論文」「修士学位論文要旨」は、一字一句、完全に同一の表記とすること（和訳を含む）。
- ・その他、注意事項は、次のとおり。
 - －全体に、「」等はつけないこと。
 - －題目が和文のみで副題がある場合、改行の上、—○○○○○—とすること。（—は、全角ダッシュ記号1つとすること。）
 - －□・□□□□の有無に至るまで検討すること。
 - －題目が英文で副題がある場合、主題の後ろに半角コロンと半角スペースを入れ、続けて副題を記載することを基本とする。また、英文の題目の下に括弧で和訳を付ける場合、和訳部分の副題の表記については、題目が和文のみで副題がある場合の取扱いを基本とする。
(ただし、コースまたは分野により、当該部分を含めた英文の表記や英文の題目の下に括弧で和訳を付ける場合の表記など、細かい取扱いが異なっている場合があるため、最終的には、指導教員に確認の上、承認を得たものを提出すること。)

参考例：題目が英文で副題があり、かつ、和訳を付ける場合。

*****Title*****. *****Subtitle*****

(○○○○主題○○○○

—□□□副題□□□—)

- －上記は、修士論文の表紙に記載する題目の副題に係る取扱いを明記したものである。
(別途、研究業績等に記載する場合には、これに縛られなくてよい。)

(3) 「修士学位論文」「修士学位論文要旨」

	提出媒体・部数
「修士学位論文」	電子ファイル (PDF ファイル) ・1 部
	・「修士学位論文」の電子ファイルは、必ず PDF ファイルで提出すること。 ・電子ファイル (PDF ファイル) 名は、修士学位論文・学籍番号・学生氏名とすること。 <例> 修士学位論文・23216099・本郷弥生.pdf ・電子ファイル (PDF ファイル) の1 ページ目 (表紙) は、この掲示の7 ページ、「修士学位論文」作成要領等を参照の上、作成すること。
「修士学位論文要旨」	電子ファイル (PDF ファイル) ・1 部
	・「修士学位論文要旨」の電子ファイルは、必ず PDF ファイルで提出すること。 ・電子ファイル (PDF ファイル) 名は、修士学位論文要旨・学籍番号・学生氏名とすること。 <例> 修士学位論文要旨・23216099・本郷弥生.pdf ・この掲示の7 ページ、「修士学位論文要旨」作成要領等を参照の上、作成すること。

※ 「修士学位論文要旨」を伴わない「修士学位論文」は、論文審査の対象とはならないので、必ず両方の提出を行うこと。

(4) その他

~~上記、UTOL による提出方法の詳細については、2025 年 10 月下旬頃、別途掲出を行う。~~

2025 年 10 月 31 日更新【4 ページ目以降に UTOL による提出方法等に関する詳細を更新】

- ・希望する場合には、「修士学位論文」を「東京大学学術機関リポジトリ (UTokyo Repository)」において公開することができる。公開にあたっては、指導教員の同意が必要となる。「東京大学学術機関リポジトリ (UTokyo Repository)」については、下記を参照のこと。
<https://repository.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/about>
- ・公開を希望する場合、以下の学生支援チームメールアドレスに事前に連絡のうえで、所定の「許諾書」(本人及び指導教員の自筆署名が必要) を学生支援チーム窓口へ提出すること。
- ・所定の「許諾書」については、在学生向け WEB サイト内の「各種様式：大学院生用」より確認のこと。
<https://www.p.u-tokyo.ac.jp/students/procedure/>

教育学研究科学生支援チーム 連絡先 (メールアドレス) gakuseishien.p@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

(5) 提出方法 【「修士学位論文題目」「宣誓書」「学位記記載事項等確認」「承諾書」】

UTOL に WEB 入力すること。 <https://utol.ecc.u-tokyo.ac.jp/login>

UTOL への WEB 入力先のタイトルについては、2025 年 11 月 25 日(月)10:00 頃、UTOL に掲出を行う。

－2025 年度＞集中コース等＞教育学研究科 2392501 教育学研究科修士論文＞アンケート＞2025 年度「修士学位論文題目」「宣誓書」「学位記記載事項等確認」「承諾書」(2026 年 3 月修了予定者)

必ず提出期限までに時間的な余裕をもって、上記 WEB 入力先が画面に表示されているかどうか確認すること。授業コンテンツ＜アンケート＞の部分に、以下のタイトルが表示される。

【2025 年度「修士学位論文題目」「宣誓書」「学位記記載事項等確認」「承諾書」(2026 年 3 月修了予定者)】

もし、表示されていない場合には、早急に教育学研究科学生支援チームまで問い合わせること。提出期限後又は直前に問い合わせを受けても対応することはできないので、十分注意すること。

「修士学位論文題目」「宣誓書」「学位記記載事項等確認」「承諾書」の提出手順は以下のとおりである。

- (A) タイトルの【2025 年度「修士学位論文題目」「宣誓書」「学位記記載事項等確認」「承諾書」(2026 年 3 月修了予定者)】をクリックすると、アンケート回答画面に遷移する。
- (B) 設問 1～4, 6～7 は入力必須、設問 5, 8～10 はそれぞれ該当する者のみ入力する。入力完了後、＜確認画面に進む＞をクリックすると、アンケート回答内容の確認画面に遷移する。
※入力必須項目(設問 1～4, 6～7)が一部でも未入力の場合には、エラーメッセージが表示され、先に進めなくなるので、入力必須項目(設問 1～4, 6～7)について、必ず全ての項目を入力の上、＜確認画面に進む＞をクリックすること。
- (C) 内容が正しいことを確認し、＜提出する＞をクリックすると、アンケート回答完了画面に遷移し、＜回答が完了しました。＞というメッセージが表示される。
- (D) 上記(A)のタイトルの【2025 年度「修士学位論文題目」「宣誓書」「学位記記載事項等確認」「承諾書」(2026 年 3 月修了予定者)】の一番右側に表示されている操作(黒丸)から＜回答確認＞をクリックすると、アンケート回答内容確認画面に遷移するので、既に提出済みの入力内容の最終確認を行う。最後に、当該アンケート回答内容確認画面のスクリーンショットをとり、各自で保存すること。
- (E) 以上の全てについて、提出期限内に行うことにより、提出完了となる。(提出期限直前になってから WEB 入力を開始しても間に合わないので、必ず提出期限までに時間的な余裕をもって、WEB 入力すること。)

※操作の詳細については、UTOL ログイン後、画面右上の Manual、「UTOL_学生向けマニュアル」の 55～60 ページを確認すること。

なお、UTOL のログイン画面には、次のように明記されているので、当該時間帯には WEB 入力しないよう、十分注意すること。(今後、急遽変更となる場合があるので、UTOL ログイン画面等から、随時、最新の情報を確認すること。)

－UTOL は第 1 火曜日の昼休み(12:20-13:00)に定期メンテナンス作業を行います。メンテナンス中は機能が利用できません。作業終了までお待ち下さい。

(6) 提出方法 【「修士学位論文」「修士学位論文要旨」】

上記(3)のとおり作成した、「修士学位論文」の電子ファイル(PDF ファイル)1部、「修士学位論文要旨」の電子ファイル(PDF ファイル)1部を、UTOL にてアップロードすること。

<https://utol.ecc.u-tokyo.ac.jp/login>

UTOL 上における電子ファイル(PDF ファイル)のアップロード先タイトルについては、2026 年 1 月 5 日(月)10:00 頃、UTOL に掲出を行う。

- －2025 年度>集中コース等>教育学研究科 2392501 教育学研究科修士論文>課題>2025 年度「修士学位論文」(2026 年 3 月修了予定者)
- －2025 年度>集中コース等>教育学研究科 2392501 教育学研究科修士論文>課題>2025 年度「修士学位論文要旨」(2026 年 3 月修了予定者)

必ず提出期限よりも前に時間的な余裕をもって、上記アップロード先が画面に表示されているかどうか確認すること。授業コンテンツ<課題>部分に、以下 2 つのタイトルが表示される。

【2025 年度「修士学位論文」(2026 年 3 月修了予定者)】

【2025 年度「修士学位論文要旨」(2026 年 3 月修了予定者)】

もし、表示されていない場合には、早急に教育学研究科学生支援チームまで問い合わせること。提出期限後又は直前に問い合わせを受けても対応することはできないので、十分注意すること。

以下に、「修士学位論文」の電子ファイル(PDF ファイル)・1 部の提出手順を明記する。

なお、「修士学位論文要旨」の電子ファイル(PDF ファイル)・1 部を提出する場合には、提出の流れは同様であるが、別のタイトル【2025 年度「修士学位論文要旨」(2026 年 3 月修了予定者)】にアップロードする形となるので、該当部分を読み替えた上で、確認すること。

- (F) タイトルの【2025 年度「修士学位論文」(2026 年 3 月修了予定者)】をクリックすると、課題提出画面に遷移する。
- (G) 上記(3)で作成した、「修士学位論文」の電子ファイル(PDF ファイル)・1 部をアップロードし、<提出する>をクリックすると、課題提出完了画面に遷移し、<提出が完了しました。>というメッセージが表示される。
- (H) 上記(F)のタイトルの【2025 年度「修士学位論文」(2026 年 3 月修了予定者)】をクリックすると、課題提出画面に遷移するので、既に提出済みの成果物の欄に、上記で作成した、「修士学位論文」の電子ファイル(PDF ファイル)・1 部がアップロードされた状態となっているか、最終確認を行う。併せて、異なる電子ファイル(PDF ファイル)がアップロードされた状態になっていないか、最終確認を行う。最後に、当該課題提出画面のスクリーンショットをとり、各自で保存すること。
- (I) 以上の全てについて、提出期限内に行うことにより、提出完了となる。(提出期限直前になってからアップロードを開始しても間に合わないので、必ず提出期限までに時間的な余裕をもって、アップロードすること。)

※操作の詳細については、UTOL ログイン後、画面右上の Manual、「UTOL_学生向けマニュアル」の 42～46 ページを確認すること。

なお、UTOL のログイン画面には、次のように明記されているので、当該時間帯には WEB 入

力しないよう、十分注意すること。(今後、急遽変更となる場合があるので、UTOL ログイン画面等から、随時、最新の情報を確認すること。)

－UTOL は第 1 火曜日の昼休み (12:20-13:00) に定期メンテナンス作業を行います。メンテナンス中は機能が利用できません。作業終了までお待ち下さい。

アップロード先のタイトルを絶対に間違えないよう、くれぐれも十分注意すること。

－タイトル【2025 年度「修士学位論文」(2026 年 3 月修了予定者)】に、「修士学位論文要旨」の電子ファイル (PDF ファイル)・1 部をアップロードすることがないよう、くれぐれも十分注意すること。

－タイトル【2025 年度「修士学位論文要旨」(2026 年 3 月修了予定者)】に、「修士学位論文」の電子ファイル (PDF ファイル)・1 部をアップロードすることがないよう、くれぐれも十分注意すること。

(7) 提出期間に関する留意点

- ・「修士学位論文題目」「宣誓書」「学位記記載事項等確認」「承諾書」の WEB 入力、「修士学位論文」及び「修士学位論文要旨」の電子ファイル (PDF ファイル) のアップロードについて、提出期間はこの掲示の 1 ページ目に掲げるとおりである。
- ・当該日時は日本時間となるため、日本国外から WEB 入力・アップロードする場合には、時差について十分注意すること。
- ・当該期限 (最終日 16:30) に 1 秒でも WEB 入力・アップロードが遅れると、提出を受け付けることができなくなるので、十分注意すること。システム上の時間的誤差を意識して、UTOL 上では 15 分多めの期限を設定してはいるが、くれぐれも、期限までに時間的な余裕をもって、WEB 入力・アップロードの上、上記 (5) -(E)、上記 (6) -(I) までの確認を行うこと。

(8) 注意事項

- ・「修士学位論文」及び「修士学位論文要旨」の提出媒体は、電子ファイル (PDF ファイル) のみとなる。紙媒体での提出は受け付けることができないので、十分注意すること。郵便や学生支援チーム窓口等での紙媒体の提出は受け付けない。
- ・ネットワーク障害等の理由により、「修士学位論文題目」「宣誓書」「学位記記載事項等確認」「承諾書」の WEB 入力、「修士学位論文」及び「修士学位論文要旨」の電子ファイル (PDF ファイル) のアップロードについて、各提出期限までに完了しなかった場合には、教育学研究科学生支援チーム宛て、次の日時までに電話 (03-5841-3908) 連絡をすること。もし、電話が繋がらない場合には、メール (gakuseishien.p@gs.mail.u-tokyo.ac.jp) 連絡をすること。
(いずれにおいても、次に掲げる日時を過ぎてから連絡があった場合は、いかなる理由があったとしても、提出を受け付けることはできない。)
- －「修士学位論文題目」「宣誓書」「学位記記載事項等確認」「承諾書」については、12 月 2 日(火)17:00 まで。
- －「修士学位論文」については、1 月 8 日(木)17:00 まで。
- －「修士学位論文要旨」については、1 月 9 日(金)17:00 まで。

教育学研究科学生支援チーム

E-mail gakuseishien.p@gs.mail.u-tokyo.ac.jp / TEL 03-5841-3908

修士学位論文・修士学位論文要旨作成要領

(1) 「修士学位論文」作成要領等

- ・和文または英文で作成してください。
- ・A4判とし、表紙には修士学位論文題目・専攻名・コース名・氏名を付してください。なお、英文で作成する場合、題目の後に括弧で和訳をつけることができます。
- ・コースで別に指示がある場合には、それに従ってください。

(2) 「修士学位論文要旨」作成要領等

- ・提出された「修士学位論文要旨」を原稿として冊子を作成する予定ですので、次に指定する書式で、ワードプロセッサを用いて作成してください。
- ・当該冊子に掲載される際はモノクロとなるので、図表等を用いる場合は注意してください。
- ・A4判とし、左右余白 25mm・上部余白 20mm・下部余白 20mmとしてください。
- ・和文又は英文で作成してください。
- ・和文の場合は 4,000 字以内、英文の場合は 2,000 語を目安（いずれも 3 枚以内）とし、1 枚目は下記の記入例のとおりに作成してください。なお、2 枚目以降は、1 行目から本文を記入してください。なお、「修士学位論文」を英文で作成する場合、題目の後に括弧で和訳をつけることができます。
- ・ページ数は印字しないでください。

【1 枚目記入例①】

修士学位論文題目
— 副 題 —
(一行挿入)
○○○○専攻
○○○○コース
氏名
指導教員 ○○○○教授
(一行挿入)
本文・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

【1 枚目記入例②】

修士学位論文題目	
(和	訳)
(一行挿入)	
○○○○専攻	
○○○○コース	
氏名	
指導教員	○○○○教授
(一行挿入)	
本文	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

〔その他〕

- －今回提出後、「修士学位論文題目」を変更することはできないので、十分注意すること。
- －今回提出を行う「修士学位論文題目」と、以降提出を行う「修士学位論文」「修士学位論文要旨」は、一字一句、完全に同一の表記とすること（和訳を含む）。
- －論文題目は、全体に「 」等はつけないこと。
- －題目が和文のみで副題がある場合、改行の上、—○○○○○—とすること。（—は、全角ダッシュ記号 1 つとすること。）
- －□・□□□の有無に至るまで検討すること。
- －題目が英文で副題がある場合、主題の後ろに半角コロンと半角スペースを入れ、続けて副題を記載することを基本とする。また、英文の題目の下に括弧で和訳を付ける場合、和訳部分の副題の表記については、題目が和文のみで副題がある場合の取扱いを基本とする。
（ただし、コースまたは分野により、当該部分を含めた英文の表記や英文の題目の下に括弧で和訳を付ける場合の表記など、細かい取扱いが異なっている場合があるため、最終的には、指導教員に確認の上、承認を得たものを提出すること。）